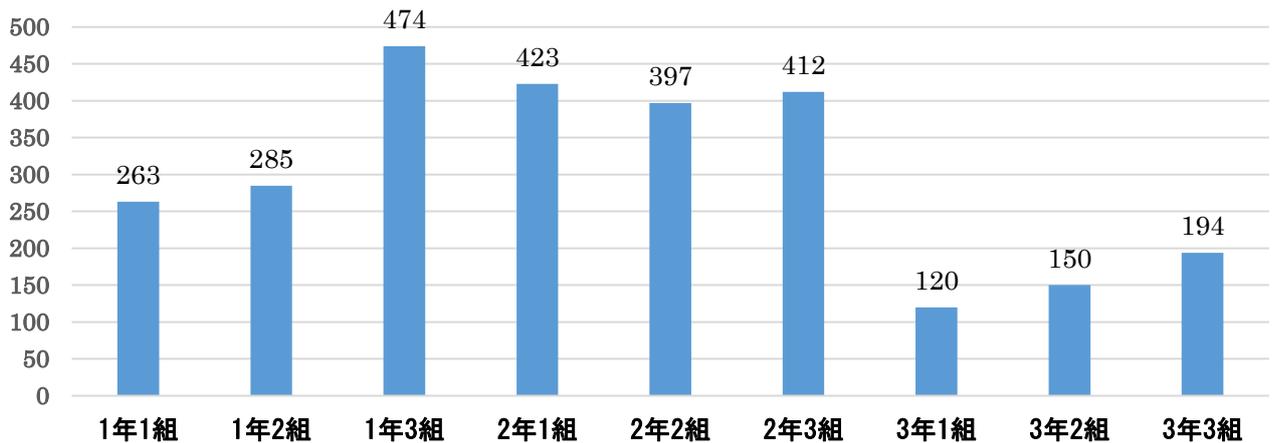


図書室だより 3月

令和7年3月17日(月)
伊達中学校 図書室
第19号 文責 阿部翔子

3学期も残り1週間となり、今年度の貸出もすべて終了しました。春休み中は本の貸出は行いません。すべての本がそろっている状態で新年度を迎えるため、今週中に忘れずに本の返却をお願いします。

◆令和6年度貸出冊数◆



(6組・7組の冊数は、それぞれのクラスに入れました。)

今年度の貸出は合計で2,718冊、最も貸出冊数が多かったのは、1年3組の474冊でした。

おめでとう！多読賞

貸出冊数50冊以上の人を紹介します。

1年1組 R・Kさん 1年3組 H・Tさん 2年1組 H・Aさん
2年1組 H・Oさん 2年1組 H・Oさん 2年2組 M・Kさん
2年2組 S・Yさん 2年3組 A・Kさん 2年3組 O・Hさん

学生のうちからの読書習慣はとても大切です。もしかしたら、今しか出会えない本があるかもしれません。

本のジャンルはなんでもかまいません。身近に本を置いて読書を楽しんでください。

令和6年度 貸出ランキング

	作者	書名	貸出回数
1	雨穴	変な絵	貸出 17回
2	卯山 玉子	『ねこほん』	貸出 16回
3	汐見 夏衛	『あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。』	貸出 15回
4	雨穴	『変な家』	貸出 14回
5	氏田 雄介	『54字の物語 怪』	貸出 13回
	汐見 夏衛	『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』	
	神田 滯	『私達は、月が綺麗だねと 囁き合うことさえできない』	
6	顎木 あくみ	『私の幸せな結婚』	貸出 12回
	武田 綾乃	『青い春を数えて』	
	小鳥居 ほたる	『記憶喪失の君と、君だけを忘れた僕。』	
	汐見 夏衛	『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』	

雨穴『変な絵』 双葉社



とあるブログに投稿された『風に立つ女の絵』、消えた男児が描いた『灰色に塗りつぶされたマンションの絵』、山奥で見つかった遺体が残した『震えた線で描かれた山並みの絵』…。いったい、彼らは何を伝えたかったのか——。9枚の奇妙な絵に秘められた衝撃の真実とは!?その謎が解けたとき、すべての事件が一つにつながる! 今、最も注目を集めるホラー作家が描く、戦慄の国民的スケッチ・ミステリー!

今泉 忠明/監 卯山 玉子/著『ねこほん』 西東社



主人公は、2匹の猫と暮らす夫婦。どたばたで毛みみれで幸せな毎日のワンシーンを切り取りながら、それぞれの行動の裏に隠された猫のほんねを解説していきます。最新研究に基づく解説は、どれをとっても目からウロコ。なんで私たちはこんなにも猫が大好きなの?という「人が猫を愛する理由」にまで最新科学で切り込みます。

汐見 夏衛『あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。』 スターツ出版



中2の涼は転校先の学校で、どこか大人びた同級生・百合と出会う。初めて会うのになぜか懐かしく、ずっと前から知っていたような不思議な感覚。百合にどんどん惹かれていく涼だったが、告白を決意した矢先に百合から聞かされたのは、75年前の戦時中にまつわる驚くべき話で——百合の悲しすぎる過去の恋物語だった。